

米軍機による低空飛行訓練について

貴職におかれましては、我が国の平和と国民の安全・安心のために、日頃から御尽力を賜っておりますことに心から敬意を表します。

高知県では、長年にわたって県北部の嶺北地域など、いわゆるオレンジルートで低空飛行訓練を行う米軍機がたびたび目撃されています。

過去には本県で4回もの米軍機の墜落事故が発生しており、中でも、平成6年10月には当ルート下の早明浦ダムで墜落事故が発生しているため、低空飛行訓練は周辺地域の住民に強い恐怖と不安を与え続けています。

また、低空飛行訓練が行われている山間部では、医療救急活動等のため消防防災ヘリやドクターヘリが日常的に飛行していることから、万が一の衝突事故への不安も強くあります。

このため、本県としては、これまでも、危険性の極めて高い超低空飛行訓練など異常な訓練を行わないことや、訓練ルートや訓練時期を事前に情報提供することなどを、繰り返し貴省に要請してきたところです。

しかしながら、これまでの要請にもかかわらず、昨年10月末からは戦闘機のほか、オスプレイを含むプロペラ機による低空飛行訓練の目撃回数が大幅に増加しており、昨年12月及び本年5月の要請後においても依然として訓練回数は減少せず、本年1月からの目撃回数は、既に160回を超えています。

この中には、配慮があるべき夜間及び休日における飛行や、子どもが怖がるような超低空飛行訓練のほか、人口が密集している市街地上空での飛行も数多く確認されていることから、住民の不安はさらに増大しています。

こうした危険性が高く、強い恐怖と不安を抱かせる訓練が続けられていることは、県民の安全・安心を守る立場の者として誠に遺憾であります。

つきましては、県民の安全・安心を確保するため、下記の事項につきまして、改めて強く要請いたします。

記

- 1 住民に不安や安全への懸念を抱かせるような危険性の極めて高い超低空飛行訓練や夜間における訓練など、異常な訓練は行わないよう米国に強く要請すること
- 2 米軍機による低空飛行訓練等については、訓練ルートや訓練が行われる時期についての事前情報提供や、そのための具体的な工夫を行うこと
- 3 国として現地における低空飛行訓練の状況を把握する方策を講じること

防衛大臣 河野 太郎 様

令和2年7月22日

高知県知事

濱田省司